Abstract of JP62239588

PURPOSE:To make the formation of an insulator easy, and re inforce the mechanical junction strength between a dielectric substance and an internal electrode, by cutting an unitary bo dy of laminated layers into a required size and sintering them thereafter.

CONSTITUTION: Calcinated powder of piezoelectric ceramic material is mixed with binder, and subjected to casting to fo rm a green sheet, on one surface of which an internal electr ode is formed by printing. The necessary number of sheets a re laminated and heated under pressure to be united in a bo dy. After an insulator 3 is spread on both end surfaces of this piezoelectric element of laminated ceramics and hardened, c ut-grooves 4 are formed on the right and the left end surfac es. Conductive coating material is spread on the cut-grooves 4 and the insulator 3 to form an electrode 5. Since sintering is performed after the unitary body of laminated layers is cut into pieces having a required size, the thermal contraction of the dielectric substance 1 and the internal electrode 2 exhibit ts a small difference, and the contraction of the internal electrode 2 is larger. Consequently, the end parts of the dielectric substance 1 adhere with each other, although the degree is sl ight, The strength more excellent than the conventional examples can be obtained, thereby,

3)

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出 頤公開

母 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62 - 239588

௵nt.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和62年(1987)10月20日

H 01 L 41/08

C-7131-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

砂発明の名称 積層セラミツク圧電素子の製造方法

②特 頭 昭61-83905

❷出 閲 昭61(1986)4月10日

の発 明 者 随 口 文 雄の出 関 人 長井電子工業協同組合

長井市時庭1960番地 長井電子工業協同組合内

組合 長井市時庭1960番地

o do a

1、 発明の名称

格路セラミック圧出業子の製造方法

- 2、特許請求の範囲
 - (1) 表面全域に内部沿板を形成した同一寸法の締治体を抵別して抵別セラミック圧電素子を得る工程と、該抗过セラミック圧電素子の抵控间の少なくとも2方向を絶検物で被覆する工程と、該地域物を除去し前心内部電板に達する切りについて互いに異なる内部で使いなりの工程と、該切消むよび2方向の絶接物上に外で物質で外部電板を形成する工程とを封鎖した抗盟セラミック圧電素子の製造方法。
 - (2) 切断をレーザーまたはカッターにより形成することを特徴とする特許額限の範囲第(1) 項記載の税料セラミック圧電器子の製造方法。
 - (3) 内部電視を形成した関ーす法の課金体を希慮したのち焼精して抵別セラミック圧電素子を得る工程を以降したことを特徴とする特許請求の ・ 初期第(1) 用または第(2) 単記載の最終セラミ

ック圧電素子の製造方法。

3. 発明の詳確な説明

[范明の技術分野]

この 定明は圧低材料からなる格局 セラミック圧 電器子の製造方法に関する。

【発明の技術的智景とその問題点】

使来抵抗でラミック圧部署子の製造方法として知られているのは、例えば特別問58-1960 68月公和に記載され、第3四に示すように、同一寸法からなる電型材料製または複数を対抗所して表面に対する。これを複数を対抗所して数量が係りる。この機能体13の関節に対応する。この機能体13の関節に対応がよりに表面に対抗が14上から準備が15とし、調構にして関係が を進布して外部情報15とし、調構にして関係が を進布して外部情報15とし、調構にして関係が にも略様物16月よび外体が指揮17を形成する。 しかしながら、このような製造方法では抵抗が にも略様物16月にのような製造方法では抵抗が にもめるので、始終物14月6の後年が例如で

特開昭62-239588(2)

あり、かつ構造した状態において材料のまたは確 仮1.1と内部間隔12との接着となるので、積別 体13を上下方向に引張った場合引張り強度が小 さい欠点を存していた。

【元明の目的】

この発明は絶ね物の形成が容易で、機械的強度の大なる折照にラミック圧 治薬子を提供することを目的としたものである。

〔発明の改養〕

この発明になる品級セラミック圧電業子の製造 方法は、装飾金属に内部電権を形成した同一寸法 の誘電体を植削して機関セラミック圧電素子の積約面の 少なくとも2方向を絶理物で無理する工程と、減 絶験物を除去し前心内部電板に達する切得を前記 2方向について互いに異なる内部電板に設ける工 程と、該切消および2方向の絶種物上に専出物質 で外部電板を形成する工程とを具施したものであ

[元明の実施財]

国などの移電物質を適布して外部電板5とする。 試料として報5、3mx横4、7mx内さ100 μπを1枚として、これを30枚格別し厚さ 3、1mとした漢子に対し厚さ20μπの切消を 形成したものについて引張強度(積積体の上下方 向への引張強度)および抗断強度(積積体の左右 に対する折損機度)を翻定した特殊を下表に示す。

| | 引指效度(加/品) | 抗斯強度(Kg/dd) |
|-----|-----------|-------------|
| 從米例 | 5 5 | 4 4 0 |
| 本発用 | 6 1 | 485 |

なお、従来は前記特別明58-196068月 公権記載の方法により製造したもので、その他の 条件は本発明と所じにしたものである。

表から明らかなように資金度とも本意明の方が 優れた特性を示している。これは本乳明が精過一 体化したものを衝襲す後に切断したのら焼精した ために焼結時において通電体1と内部電通2との 熱収縮に持手の差があり、内部電極2の収縮が大

そして切2回に示すように精緻セラミック圧活素子の左・右調型増通にカラスなどの絶験物3を造布・硬化させたのち、前記左・右端面をレーザーで照明して切消4を形成する。該切消4は絶駄物3を除去し、内部遺析2に進するもので、2枚にわたって形成され、左・右環節の異なる内部電位わたって形成され、左・右環節の異なる内部電

きく、よってわずかではあるが、 送電体 1 の煩酷 が誘電体 1 阿志で接着するので、 焼結後切断され 材料数または解板 1 1 と内部電極 1 2 とが接着し ている健来例より優れた強度を関られるものである。

なお、実施例では形状が角形の製造体1で、た 石画製造画に外部電板5を形成した場合について 述べたが、形状が必ずしも角形でなくてもよく、 かつ外部電板も左右対象に設けなくても、たとえ は近角の関係などの2方前に設けてもよい。また 絶貨物は外部階級を形成する方向にけでなく全面 に設けてもよい。

[発明の効果]

この方法によれば試電体の1枚の厚さが、50 ルπ程度の調いものでも内部電極の引出しが容易 であり、また機械的強度が向上する効果を得ることができる。

4. 例前の関係な説明

第 1 回は木雅明になる統領セラミック圧投業子の焼精度の状態を示す正断通路、第 2 월は木飛明

特開昭62-239588(3)

によって製造した价格セラミック圧 世界子の一次 婚例を示す 正病 前途、第3 図は健康例により製造 した 40 間セラミック圧 世界子を示す 正所 前途でめ

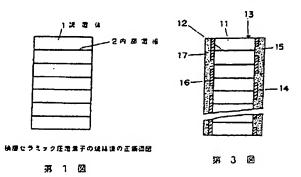
1 … … 課 電 体

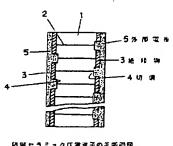
2 … … 內部市區

4 … … 切消

5 --- -- 外部電板

特 許 也 斯 人 反对钳子工象位风和合





研解セラミック圧電素子の正所面倒 第 2 図